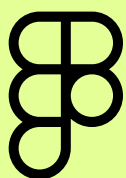
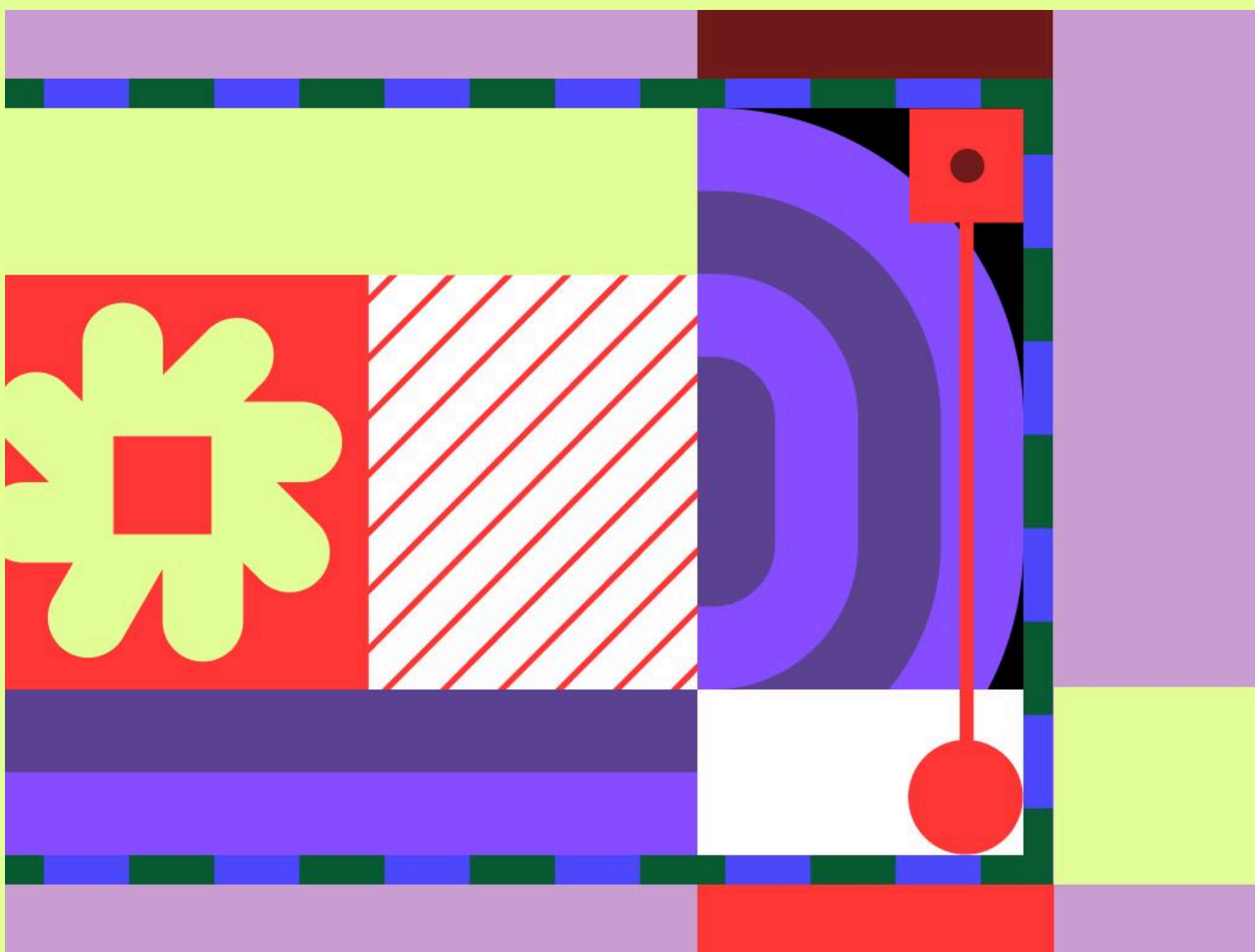


# 開発者の意識調査: 2025年における 働き方、ツール、 チームの変化



---

04

# 仕事の満足度と 市場動向

---

05

# AIツールの 影響

---

07

# ハイブリッドワークの 影響

---

08

# デザインと開発の 協働

---

開発者の働き方が変わりつつあります。分散型チームとAIがワークフローを再構築する中で、機会と課題の両方が変化しています。ここでは、開発者がこれらの変化にどのように対応しているか、またそれが仕事の満足度と全体的な幸福感にどのような影響を与えているかを探ります。

私たちの調査結果は多様な視点を明らかにしていますが、その傾向は明るいものです。42%が仕事の満足度が向上したと答え、半数以上がAIによって製品のデザインと開発の未来により楽観的になっていると答えています。短く言えば、課題はあるものの、開発者は昨年よりも満足していることがわかります。

このレポートは、Figmaの年次「デザイナーの今をデータで読み解く」レポートにおける開発者の回答の概要をまとめたもので、米国、欧州、APACの450人のフロントエンド開発者からのインサイトに焦点を当てています。

オーストラリア/  
ニュージーランド: 50

スペイン: 50

フランス: 50

ドイツ: 50

インド: 25

日本: 20

オランダ: 25

北欧諸国: 25

東南アジア: 5

イギリス: 50

米国: 100

# 仕事の満足度と市場動向

仕事に満足していると答えた回答者は、満足していないと答えた回答者の約3倍です。

昨年と比べて、仕事の満足度をどのように評価しますか？

42%

向上した

43%

同じ

15%

低下した

経済的な逆風により、開発者の雇用市場に対する認識は影響を受け、**40%の開発者が雇用市場は悪化したと答えています。**

一方で、この変化し続ける状況の中でも、仕事のスピードは加速しています。

38%

の開発者が、昨年よりも早く製品を市場に投入しています。

14%

の開発者が、市場投入までの時間が長くなったと答えています。

# AIツールの 影響

この変化のどれくらいがAIに起因するのでしょうか？  
基盤モデルがより手頃な価格になり、広く利用可能になるにつれて、開発者はAIを業務フローに取り入れる機会が増えており、製品の構築方法にも影響を与えています。

81%

の開発者が、AIは手作業を削減すると考えています

80%

が、AIは仕事をより迅速にすると感じています

68%

が、AIはより良い製品を構築するのに役立つと考えています

40%

自分たちが関わる製品の機能において、AIによる「大きな」または「変革的な」影響をすでに実感しています。

プロダクトビルダーは、AIをより頻繁に活用するプレッシャーを感じていますが、初期の兆候では、AIに対する感情は概してポジティブであることが示されています。

56%

の開発者が、AIのおかげでプロダクトデザイン・開発の未来に対してより楽観的になっていると語っています

50%

が、AIが個人のワークフローや生産性に「大きな」または「変革的な」影響を与えると期待しています

AIは、プロダクトデザインや開発の未来について、あなたの見方をより楽観的にしますか、それとも悲観的にしますか？

56%

より楽観的になる

31%

変わらない

12%

より悲観的になる

# ハイブリッドワークの影響

開発者が働く場所やコラボレーションの方法は、オフィス勤務が中心であっても、デジタルツールを使ったリモート接続であっても、変化しつつあります。こうした変化は、職場満足度に対する開発者の考えにも必然的に影響を与えています。

彼らはリモートとオフィスの組み合わせを好意的に受け止めています。特に気に入っている大きな理由の一つは、働く場所を自由に選べる高い柔軟性です——自宅、オフィス、あるいは出先でも働けます。

## 97%

の開発者が、少なくとも一部はリモートで仕事をしており、半数以上が完全またはほぼリモートで仕事をしています

## 74%

が、現在のリモート/オフィスの配分に満足しています

## 60%

が、ほとんどまたは常に、在宅勤務をしています

開発者が在宅勤務をしている割合は地域によってわずかに異なります：

ほとんどまたは常に在宅勤務をしている開発者：

## 65%

ヨーロッパ

## 54%

APAC

## 54%

米国

# デザインと開発の協働

チームが新しいツールやワークフローの使用に適応するにつれて、コラボレーションも進化しています。では、開発者は主要なパートナーとどのように連携しているのでしょうか？

- 仕事への満足度が高い開発者は、**より頻繁にデザイナーとコラボレーション**しています
- **94%**が開発者とデザイナーのコラボレーションを効果的と評価しています
- **78%**が、コラボレーションが少なくとも週に数回行われていると言っています

開発者の高い仕事満足度とデザインチームとの効果的なコラボレーションには関連性があるものの、改善の余地はまだあります。実際、**開発者の91%が、デザインと開発のハンドオフはもっと良くできると考えています**。これはプロセスの問題もありますが、それ以上に根本的な対人関係の課題に取り組む必要があります。

仕事の満足度が高い開発者は  
より頻繁にデザイナーとコラボレーションしています：

**32%**

が、毎日コラボレーションすると回答

**59%**

が、1年前と比べてデザイナーとのミーティングが増えたと回答

開発者がデザイナーと協力する際に直面する最も一般的な課題は、開発者のワークフローやニーズの理解不足に起因しています。

---

# 52%

の開発者は、デザイナーが開発者の働き方について勝手な想定をしていると感じています

---

# 49%

は、デザイナーの優先事項や動機が開発者とは異なると考えています

---

# 47%

は、デザイナーが開発プロセスを理解していないと答えています



# 今後の展望

私たちの調査によると、開発者は概ね未来に対して楽観的です。多くの開発者は、AIを戦略的で意義のある業務に割く時間を生み出す貴重なツールと捉えています。デザイナーとの連携は頻繁に行われていますが、深さを欠くことが多く、単に交流を増やすだけでなく、より良い調整が求められていることが浮き彫りになっています。

**デザインチームとエンジニアリングチームの連携をより良くしたいとお考えですか？**

組織がどのようにして、適切なコードをより開発者に身近で使いやすくすることでギャップを埋め、デザインファイルとコードベースをより密接に結びつけているのかをぜひご覧ください。

# Figma

[figma.com/Reports](https://figma.com/Reports)